

奉 天 所 見

正 會 員 藥 師 神 榮 七*

1. ゴ タ ゴ タ

こゝ數年間にしても奉天に住んだ人、立寄つた人を數へたら夥しい人數にのぼる。それ等の人々が奉天に就いて色々の感じや所見をもつたであろうが、それを私は住んでみての所見として「ゴタゴタした街」と云つたら一番當りそうに思ふ。

チョット立寄つてみても驛頭の人や荷物のゴツタ返し、塵——不潔、奉ビル邊の狭い路上にウゴメク人々と汚れ切つた諸車。大廣場、忠靈塔附近が稍々キレイに感ずるのはその他が餘りに汚いからでしかない。東京都を想像してみるとすぐ解る。城内や北市場南市場などへ寄ろうものなら何の生産に従事してゐるか解らぬ滿人の多さ。新市街地は交通不便で寄る人も少いであろうがこれは日滿雜居のソグワナイ家の建て方施設の粗さ。

では住んでみたら——何と云つても徒らに神經をいらだたせる交通の不便、寝るだけの用の様な落ち付けない住宅の多さ、二階三階の集合住宅の多さ。何かの慰樂で遮するか不感症にならない限り安寧は得られそりにない。それに加へての衣食難。爲政者は何をしてゐるかと訊ねられたら今のところ言ひ譯以外の答へはありそうもない。決戦下の經濟面は一交易面はどうであろう。正に闇の氾濫である。嚴密に闇行爲を検挙するなら實員に於て奉天市の全戸數以上にならう。路行く人の過半數が擧げられるであらう。私の胸算用では公定賣買と闇取引とは物品の重量に換算して6對4、價格の比ではその逆以上となる。昨年の中露邊境期の或る日警察によつて奉天市へ周邊からの糧穀密輸の一齊檢舉が行はれた。結果は檢舉人員 2,108人、押收糧穀21屯、途局者 793名だつ

た。此の日はたまたま周邊の瀋陽縣でも一齊取締りをした日であつた由。こんな日さへ僅か一日で21屯の闇流入だから闇の量の多さは想像に難くない。新京でも同じ様取締りで一晚に約六石（1屯足らず）トラクターばいの闇押収をやつたそうだからこの現象は強ち奉天特有のものでないこと勿論だがその數量に於ては奉天が先づ橫綱格である。大東亞共榮圈内上海に次ぐ犯罪都市の稱があるのも宜なる説である。

闇に就ての検討は面白い様でもあるが結局は頭が痛くなり、「ンサリするの落ち」である。

かうした醜い消費部面に對しその生産部面は如何であらう。

確かな統計資料が見當らないが、康徳九年度で奉天の年工業生産額（約）〇〇億圓、人口一人當り〇〇〇圓程度鞍山市それは約〇〇億圓、人口一人當り〇〇〇〇圓程度略半分以下である。不生産人口の過剰がこの經濟統計からも判定される。

その文化面政治面、何れをのぞいても「ゴタゴタ」そして醜さである。

最後に戰場一都市構築の計畫室——から。奉天の地圖一般現況圖でも計畫圖でも私は一見して「寄せ木細工」を聯想した。城内域外の黒練瓦街、商埠地、舊滿洲附屬地、新興の鐵西地區、の大凡そ四つの集團の寄せ合せその周圍に東部の工場地帯、北部の惠工廣場を中心と一する地帯、瀋陽驛前の學良時代よりの市場計畫地、急造の北陵住宅地、砂山長沿方面、長姑屯のスラム街等々がくつついて雪塗磨の様に駭れてゐる。これは歴史——即ち行政權の分立してゐた故に一都市の各部分が勝手な消長

* 奉天市公署工務處部長計畫部長

をして行政権が一元化された今日でも急な根本的改造は出来ずに膨れつゝあるのが此の「寄せ木細工」市街なのであろう。

もう一つ動的な譬へを以つて表すなら奉天市政は檻の中に糞を食つて糞をして汚く動いてゐる大衆の姿でもあろうか。

2 せ い と ん

整頓こそは市政、家政の標語の一つである。先づ小さい汚い一家のゴタゴタさの整頓を想像してみる。

庭や畑がましい。生活に應じた間取り玄關、廊下、炊事場が要る。立地、採光、通風防災等々。そして日本人なら是非日本的なもの、他の民族なら又夫々其の民族に特有なものが必要であらう。

が既設の家ではそれは多くは希望に過ぎず、結局は小規模の増改築と物品の置き方の整理整頓、清掃などで勝手悪い住ひを幾分でも住みよくするだけである。

此の考へ方を都市全體に當て飲めればよいと思ふ。

整頓する機關は何と云つても一般行政を管る市公署で特殊行政官廳や、上級行政官廳や、協和會やその他の公的諸機關は之に協力援助指導すべきもの。即ち市長は社會面に經濟面に都市構築面に夫々發生してゐるゴタゴタさの整頓をなすべきである。目下の市政方針は要するに防衛體制の確立、戦力増強のための増産、市民生産の刷新の三點に歸せられてゐる。がこれが達成への蹊路の一つは即ち前記のゴタゴタさなのである。

——工場を考へてみても清潔整頓はその生産能率を高める一つの要件である。以下都市の否奉天市の整頓の諸項——片付け方に就いて述べよう。

(1) 人口の疎散と建築物の疎開

これは大都市改造の否改質の根本要件であらう。資本主義、自由主義的色彩の濃い都市に消費人口が過剰になるのは當然の趨勢でこの過剰を健全に育成し易い小都市或は農村に或は礦業方面に移住轉業させること。人口を少くし建築物を疎開したなら交通に配給に住居に現在の奉天に見る色々のゴタゴタは先づ大半は震散霧消すること請合である——ことは誰でも推察が出来やう。之は又戦時否今後都市防備上の必至の要請でもあるに於ておや

である。

之が實現の策としては密住地區をわらつた防空陣地や廣幅員の道路の新設、腐朽建築物の使用效用改築の制限工場官衙學校等の都市外移轉、浮浪者狩り。企業整頓による者の轉出入、勤勞供出、等はもとより入市制限による流入人口の抑壓等々が列擧される。之等諸策はその難易効果の厚薄はあれど勝手に獨り進みすべきでなく都市疎開と云ふ一つの目的達成への同時的協同的施策であるべきであらう。何が最も効果的であり即應的であるかは最高の政治が之を判断するであらう。

(2) 能ふ限りの食料自給圏の確保

都市の消費について各種の自給圏の確保が望ましいがその中最重要なものは食料である。その中主食物たる糧穀は奉天の如き大都市で且その位置に於ては困難であるからその他の必要食料たる野菜肉雞卵養蜂等のそれを求める。之等の自給圏は他の條件が満足されるならばその必要面積は市街區域面積の約一・二倍の農耕區域を持てば十分である。食料に加へて薪炭の自給を可能となる。今般の奉天市と瀋陽縣との合併はこの意味に於て一つの飛躍的行政措置であつた。

(3) そ の 他

社會、經濟、交通、教化等の面に於てゴタゴタ整頓の諸項をしく許り摘記してみる。

小盜。之は浮浪者狩りの反復實施に待つ。この保安警察力で小盜防止の頓服藥的效果は十分達成出来ると思ふ。

闇。之は警察力では浮浪者狩りの様な効果を期待出来ない。何故なら小盜如きと人數に於て物量に於て比較にならぬ夥しい闇の氾濫を防堤力は一寸造れそうにない。游泳池に相等する様な施策を筆者には考へられない。やはり戦時統制經濟の正道として必要物資の積極的増産、消費の規制、運搬配給の圓滑に依ることとして各員一層努力すべきである。

交通運輸難。物の輸送の小運搬(トラック、大車)トンの輸送の小運搬(電車、バス、洋車等)の整頓はこれ又奉天に於て緊急を要する重要課題である。これは民有陸運整備要綱の實施に待つべくも電車は最近急速に整備

が強行されつゝある。

教化。日本民族の如き優秀民族にすら「目開き千人、めくら千人」の警がある。まして此の國の諸族の教育程度（識字率は一々でであらう）では教化面の凹凸、ゴタゴタの整理はこれこそ一朝一夕で整肅すべき施策はない。之も奉天に限られたことではないが教育の普及と民族指導の仕方に在ろうと思ふ。

だんだん講題が外れて難しくなつて来たのでこの邊でおしまひとします。

3 む す び

以上ゴタゴタの奉天を置いて、その整理の方法に就いて素直な意見を述べた。私の考へではそうすると市公署を中心とし上下左右の公的機關は差し當り之が整理事務所の様なものであつて然るべきである。私等はその事務所員だ。職場の能率は先づ身邊の清潔整理から。

否そうではない。範圍と数の整理から始めると心の奥から肩をたくもつものがある。やあやあこれでは未だ筆者自身の頭の中がゴタゴタしてゐるのかも知れない。決戦下だシツカリ奉公せねばならぬ。

(以上11-1-17)

工場 奉天、大連、牡丹江

出張所 大連、鞍山、牡丹江、哈爾濱、錦州、安東、吉林

常務取締役 高橋 誠 一

取締役社長 大林 芳 郎

株式會社 滿洲大林組

本店 奉天市大和區加茂町第十六號
支店 新京特別市大同大街三〇二號